

寺崎組新聞

第百十五号

発行所 寺崎組新聞社

あぁパンク (組長の目)

第147回組会報告

1日目

毎年夏の組会は東北の地で行われることが多かったが、最近南下傾向が目立ちつつも昨年は北関東での開催となつてしまふ今年はどこか心配していたが、私の地元宮城で開催されることとなり、大変嬉しく思っているところである。

というわけで今回の組会は2泊3日の宮城県栗羽山脈林道野宿旅の前半は仙台から参加のFM佐藤がレポートします。

7月13日(土) 集合場所の宮城県大崎市岩出山の国道47号線沿い、スーパーラストの駐車場に12時に到着。自宅からここまで高速を使って1時間の距離である。高速を降りた直後から雨模様となり、今年も早々にカッパスタイルとなった。夏の組会は必ずと言っていいほどカッパを着るが、それでも楽しく思えるのが野宿旅の醍醐味か。1年ぶりの組長・組員との再開である。私が一番乗りかと思いきや、組長がすでに到着済みであった。どうやらこのスーパーの裏手に軽トラをデポしたらしい。バイクはXLR、いつもの隙のない装備である。バイク旅は一人旅が好きなのだが熱練野宿ライダーの皆さんとの時はまた格別な楽しさがある。インスパイアされるのである。そうして挨拶と会話と昼食を摂っているうちに13時までに集まったのは、もうひとりの地元宮城からの参加の金子さん(KTM450)、東北組の三倉さん(XR)、関東組はオガタさん(ジェベール250)、ゴ三浦さん(DR怪、いや改)、地下鉄さん(KTM640)、私(ジェベール)、組長の7名である。7名くらいがツーリングとってはちよいどいいかも。



林道入るまで一回バイクを交換中

今年は大遅刻もなくほぼ定刻通りに会がスタートした。が、まもなく入った最初の林道で組長のバイクが太く大きな釘を拾い痛恨のパンク。早速楽しいトラブル満載の組会の幕開けとなった。ソロでは嫌になっちゃうパンク修理だが、熱練者のパンク修理の手さばきを拝める絶好の機会となれば、心の中でワクワクしてしまふ。なるほど組長のシャフトのナットの締付具合とかビード落としの手早さはバイク屋さん以上だ。特に口金を再び入れるのは、私がそれだけで20分かかかるのに、あつという間にに入れてしまった。チューブを噛みも恐れずどんどんタイヤレバーを入れていく姿は圧巻。スペアチューブに入れ替える時短策はとったが、釘の貫通が大き過ぎてゴムのリパッチはNGでした。パンク修理の全行程をもの30分で終わらせてしまった。脱帽である。パンク修理のお手本を見たければ、組会で組長のバイクをパンクさせるのが早道である(良い子の組員は故意にそんなことはしてはいけません)。私の補助スタンドと空気入れが役立つよかったですよ。

たよかった。その後私の知らない林道を何本か通り、やつと既知の林道に出た。ふるさと緑の道として地元では知られた林道である。しかし久しぶりに走ったこの林道は雨の影響か、けっこうがれており、両脇からも草木が伸び荒廃感が感じられた。林道は荒廃するが、立派に舗装されるかの両極の傾向があり、最近さみしいと感じるのは私だけだろうか。ともかくその後組長のペースに遅れまいと(でも安全に走りまわらう)と踏まえ、必死に走った。知ってる林道と知らない林道を交互に走り、林道の終点は次の林道の始点だったりとか、いやこんなにあたりは林道が多かったかと、今更なが地元の恵まれた林道天国に感謝しながら走ることができた。今回走ったルートは、私も再トレースするのが難しいくらい複雑であった。今度は分県地図ではなく1/250000の国土地理院地図で再チャレンジしたいと思っている。

一旦鳴子温泉街のウジエスーパーで夕食の買い出しをして、再び林道へ。1泊目は栗羽山脈のつべん近くの田代野営場にて暮営。しかし最近のスーパーは袋ラーメンのパラ売りがなく、5袋パックを買われ荷物になるなあ。野営場は野宿環境としてはかなり良い方で、特に今回は雨天だったので、好き物は我々だけかと思いきや、夜中にジムニーのお兄さんが到着して車中泊したみたい。変な奴はどこにでもいるのか? それとも我々の後ろにある避難小屋の2階の窓から、誰かが眺めておいでしてしているのか? まあそれはそれでいい、いつもの中庭式テント張り&ドカシー屋根張り、お楽しみの宴会がスタートした。日はまだ明るい。いつもの宿泊地への感謝の一口献上のあとは、いつもの時計回りの料理と地酒が回り、雑談に花が咲く。金子さんが地元食材(しそ巻きというんです)を振る舞い、割れないように大切に運んできた地酒を振る舞い、他の組員も刺身から炒め物まで



FM佐藤 記

盛りだくさんのレパートリーだ。中島みゆきさん他の音楽も飛び出し、宴は盛り上がる! 今回は組長がなんとガストロップ使用で、ホエーブスのプレヒートやピークワンのポンピングが酷評されるという展開に。そういえば煙草やめたし、酒はほとんどだし、何かスマートな野宿ライフになつていようような気がしたぞ。

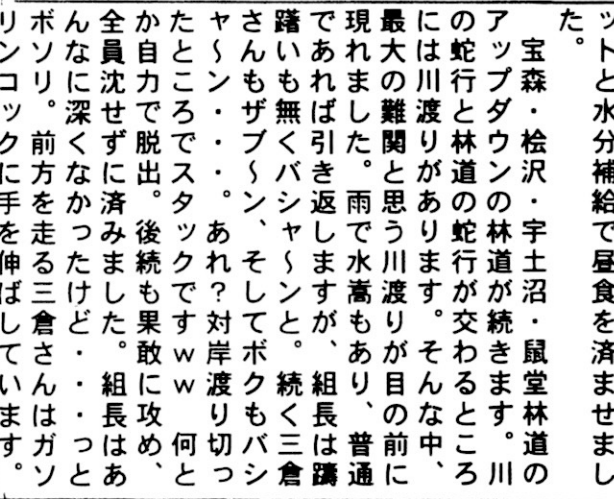
ときおりドカシーをたたく雨音が激しく、会話が聞こえなかつたりするが、それでも車座になつた7人のおっさんたちは夜中まで楽しそうにこの時間を満喫しているのだから。雨音と隣人のいびきを聞きながら全員が就寝したのは23時すぎかな。今回は珍しく私も連泊が可能となったので、明日の走行と次なる野宿地が楽しみである。(以下2日目は金子さんのレポートへ続く)



2日目

25年度の宴発表を見て、うおおお! 7月は宮城県、それも岩出山から20分の距離ではないか。我が家からそうか、3年も参加してないから、組長の優しさかなと思ってたけど、林道が多いから決めたと言われたが、それは組長の照れ隠し、優しさだろうと勝手に思っていました。

まずは車両だ。あの震災以来車検切れのKTM450とTLR200、何ならエイブ100か? などと考えたが、このチャンスに大蔵省に掛けあって車検費用を特別会計申請。なんと素直に通つてしまふいと怖い。何だかんだと楽しみになってきたところに、会社の慰安旅行が同日に決定! どうする? どうもしません。組会優先、だつて今でしょよ。前置きが長くなりましたが、二日目は金子3号担当になりました。二日目の朝は夜半過ぎまで降っていた雨も上がり、太陽が顔をだし、各々濡れものを干した。何せ僕も持参のタープが用をなさず、ゴ三浦さんのテリトリを雨粒が容赦なく直撃。雨の予報で慌てて持参したものの意味をなさなかつた。新品ドカシーの方がまだマシです。ここは田代高原の野営場で、二階建ての東屋と炊事場もある。しかし地元では有名なドロロンと足の悪い熊の出没が目撃されている逆パワースポット。そんな所にも夜中にジムニーで来た者が少し離れてソロキャンプしていた。二日目の出発も前日のメンバーと変わらず7名であるが、出発100mで組長がリアタイヤを気にして確認している。何と前日に引き続きパンクである。前日は25分で修理、本日は何分か? と話している間にゴミの焼却も始まり、どちらが早く終わるかの競争になったが、軍配は組長のパンク修理であった。



宝山・松沢・宇土沼・鼠堂林道の蛇行と林道の蛇行が交わるところには川渡りがあります。そんな中、最大の難関と思う川渡りが目の前に現れました。雨で水高もあり、普通であれば引き返しますが、組長は躊躇いもなくバシヤンと、続く三倉さんもバシヤン、そしてボクもバシヤン。あれ? 対岸渡り切ったところでスタックですww 何とか自力で脱出。後続も果敢に攻め、全員沈みませんでした。組長はあんなに深くなかつたけど、ボクはリンゴッくに手を伸ばしています。

寺崎組新聞は、いりませんか。バイクの引取、取り、ボロボロの修理。バイクの車検、何でも御相談くださいませ。

2日目

25年度の宴発表を見て、うおお! 7月は宮城県、それも岩出山から20分の距離ではないか。我が家からそうか、3年も参加してないから、組長の優しさかなと思ってたけど、林道が多いから決めたと言われたが、それは組長の照れ隠し、優しさだろうと勝手に思っていました。

まずは車両だ。あの震災以来車検切れのKTM450とTLR200、何ならエイブ100か? などと考えたが、このチャンスに大蔵省に掛けあって車検費用を特別会計申請。なんと素直に通つてしまふいと怖い。何だかんだと楽しみになってきたところに、会社の慰安旅行が同日に決定! どうする? どうもしません。組会優先、だつて今でしょよ。前置きが長くなりましたが、二日目は金子3号担当になりました。二日目の朝は夜半過ぎまで降っていた雨も上がり、太陽が顔をだし、各々濡れものを干した。何せ僕も持参のタープが用をなさず、ゴ三浦さんのテリトリを雨粒が容赦なく直撃。雨の予報で慌てて持参したものの意味をなさなかつた。新品ドカシーの方がまだマシです。ここは田代高原の野営場で、二階建ての東屋と炊事場もある。しかし地元では有名なドロロンと足の悪い熊の出没が目撃されている逆パワースポット。そんな所にも夜中にジムニーで来た者が少し離れてソロキャンプしていた。二日目の出発も前日のメンバーと変わらず7名であるが、出発100mで組長がリアタイヤを気にして確認している。何と前日に引き続きパンクである。前日は25分で修理、本日は何分か? と話している間にゴミの焼却も始まり、どちらが早く終わるかの競争になったが、軍配は組長のパンク修理であった。

宝山・松沢・宇土沼・鼠堂林道の蛇行と林道の蛇行が交わるところには川渡りがあります。そんな中、最大の難関と思う川渡りが目の前に現れました。雨で水高もあり、普通であれば引き返しますが、組長は躊躇いもなくバシヤンと、続く三倉さんもバシヤン、そしてボクもバシヤン。あれ? 対岸渡り切ったところでスタックですww 何とか自力で脱出。後続も果敢に攻め、全員沈みませんでした。組長はあんなに深くなかつたけど、ボクはリンゴッくに手を伸ばしています。